

No.10 別紙

1 活動名 満蒙開拓平和記念館 はじめの一步の学習会 NO.1

満蒙開拓の史実から学ぶもの～私たちが記念館をつくった理由 参加

2 研修の目的

(1) 本市における課題

終戦から75年、戦争を知っている世代の高齢化は進んでおり、戦争の記憶は急速に失われつつある。戦争の悲惨さを知り、平和を維持することが大切である。

(2) 研修の必要性

信州の満蒙開拓平和記念館が発信する史実と背景を学び、松本市の平和行政を推進する。

(3) 研修項目 研修内容と同じ

3 研修内容

(1) 日時 令和2年12月12日(土) 18時～19時半

(2) 会場 オンライン(ZOOM)

(3) 出席者 1名 神津ゆかり

(4) 内容

ア 講演 満蒙開拓の史実から学ぶもの～私たちが記念館をつくった理由 講師 寺沢秀文氏
(満蒙開拓平和記念館館長)

講師プロフィール 昭和28年(1953年)生 長野県下伊那郡松川町在住

両親が元満蒙開拓団員。不動産鑑定士事務所を営みながら日中友好活動、残留孤児帰国支援活動、満蒙開拓平和記念館の建設・運営等の活動にボランティア従事、満蒙開拓の調査研究などにも携わる。満蒙開拓平和記念館には準備会発足時より関わり、開館後は専務理事、副館長を経て、平成30年3月に第2代館長に就任。訪中60回以上。うち旧満州(中国東北地方)には30回以上。

(5) 成果・所感等

かつて中国東北地方に13年間だけ存在した『満州国』へ日本から開拓団として約27万人が、ここ信州からも多くの方が現地へ渡った。日中双方に多くの犠牲を生んだ満蒙開拓。元開拓団員を両親に持つ館長に記念館の背景とその史実を伺った。戦争という悲惨な史実において、どうしても被害側の視点で見えてしまうことが多いが、満蒙開拓平和記念館の展示では「加害」側としての事実も見ることができる。貴重な資料がわかりやすく展示されているこのような記念館は、ぜひ中学校での歴史の授業や修学旅行で訪れてほしい。

4 政務活動費

(1) 使途項目 研究研修費

(2) 支出額 参加費 1,000円